佐久市埋蔵文化財調査報告書　第１８９集

権現山遺跡群

権現山窯跡

GON GEN YAMA

長野県佐久市八幡

権現山須恵器窯跡発掘調査報告書

２０１１．３

中澤建材興業株式会社
長野県佐久市教育委員会

例　言

1　本書は、平成22年に調査した長野県佐久市八幡に所在する権現山窯跡の調査報告書である。

遺跡名　　権現山遺跡群 権現山窯跡　略称ＧＧ
所在地　　長野県佐久市八幡320-2
調査面積　　約50㎡
開発主体者　　中澤建材興業株式会社
開発事業名　　宅地造成事業
調査期間　　平成22年４月２日～平成23年３月18日

2　本調査は、中澤建材興業株式会社の委託を受けた佐久市教育委員会が実施した。

3　調査は、羽毛田卓也を担当者とし、地元の皆様をはじめ多数の方の協力を得て実施した。

4　本遺跡に関わるすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

5　本書の執筆・編集は、羽毛田卓也が担当した。

6　佐久市内では希少な発見となった須恵器窯跡の記録保存に際し、文化財保護に御理解と御協力をいただいた中澤建材興業株式会社、ユーアール測量設計株式会社、穂の香乃湯の皆様に感謝申し上げます。

凡　例

1　遺跡の略称　　ＧＧ

2　遺構の略称　　Ｋ → 窯址

2　遺構・遺物の縮尺は各図中にスケールを付したので参照されたい。

3　表・写真図版等の番号（例8－3）は挿図番号（例第８図３番）と対応する。

4　遺構横断図中の記号「S」は「石」を表す。

5　土層説明中の土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・(財)日本色彩研究所色票監修1992年度版『新版標準土色帖』の表示に基づいた。

6　写真図版中の遺物の縮尺はその都度明記し、明記のないものは任意の縮尺である。

7　土層の粒子表記は国際標準である「堆積物粒径分類」に基づいた。

名称	礫・パミス				砂			泥	
	巨礫	大礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土
直径(㎜)	256以上	256～64	64～4	4～2	2～0.5	0.5～0.25	0.25～62/1000	62/1000～4/1000	4/1000以下

8　遺物写真の縮尺は、すべて１：2.5である。

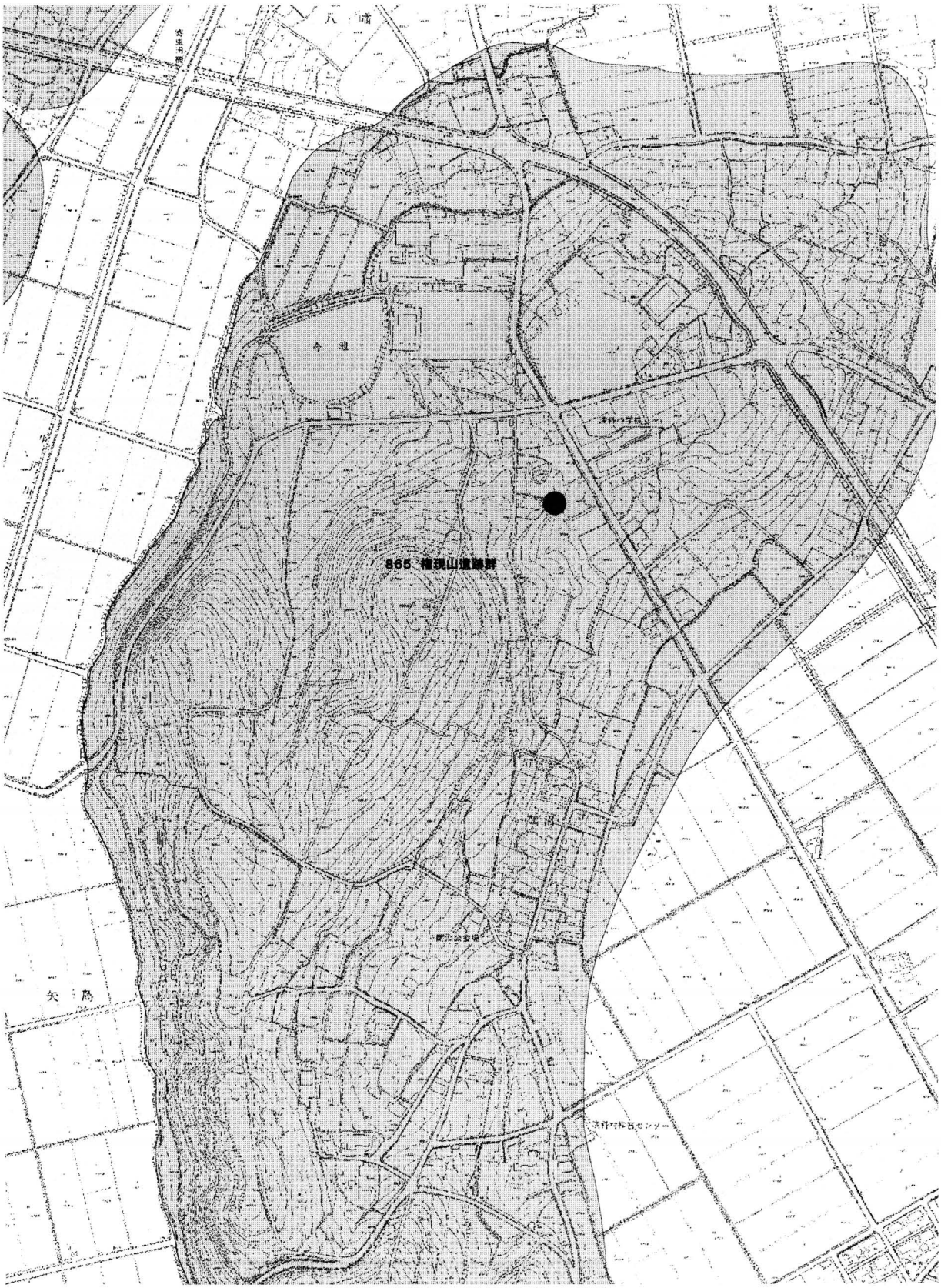
第Ⅰ章　発掘調査の経緯

1　調査に至る動機

権現山遺跡群は、佐久市の西方、旧浅科村に所在し、千曲川を東方に臨む丘陵斜面（標高668m～670m）に展開する奈良時代から平安時代の須恵器窯址・集落址である。

今回、中澤建材興業株式会社が行う宅地造成事業に伴い、同社と佐久市教育委員会とで協議の結果、試掘調査を行い、遺構の有無を調査した。試掘調査の結果、奈良時代と考えられる遺構が検出されたため、再度協議を行った。協議により、遺構が検出された部分について、中澤建材興業株式会社より依頼を受けた佐久市教育委員会が主体となって発掘調査を行う運びとなった。

第１図　権現山窯跡位置図（1：50,000）



第２図　権現山窯跡位置図（１：5,000）

2　調査の概要

発掘調査

調査面積　５０㎡

調査期間　平成22年４月５日から平成23年３月18日

調査遺構　　奈良時代～平安時代の須恵器窯跡　　２基

3　調査の体制

事務局（平成22年度）	佐久市教育委員会 社会教育部 文化財課
教育長	土屋盛夫
社会教育部長	工藤秀康
文化財課長	森角吉晴
文化財調査係長	三石宗一
文化財調査係	林幸彦、並木節子、須藤隆司、小林眞寿、羽毛田卓也 冨沢一明、上原学、出澤力、井出泰章
調査主任	佐々木宗昭、森泉かよ子

4　調査日誌

平成22年４月２日～４月６日

現地協議

重機による表土剥ぎ

発掘器材の搬入、測量基準杭の設置

平成22年４月５日～４月21日

遺構検出作業、遺構の掘り下げ

遺構の実測・写真撮影

器材搬出、現地協議

平成22年４月22日～平成23年３月18日

遺物の洗浄・注記・復元・実測・写真撮影

遺構実測図面の修正・遺構第2原図作成

各種図面のトレス、報告書版下作成

報告書編集作業、校正

遺物・図面の整理・収納

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

1　遺跡の自然的環境

佐久平は、北方に前掛山（2524m）・黒斑山（2404m）・高峰山（2106m）・湯ノ丸山（2101m）・火山活動中の浅間山（2568m）を主とする三国山脈の南端峰群、東から南方に関東山地から連なる山々である平尾山（1155m）・森泉山（1136m）・八風山（1315m）・寄石山（1334m）・物見山（1375m）・凧の峰（1292m）・熊倉峰（1234m）・荒船山（1422m）・兜岩山（1368m）・霊仙峰（1268m）などからなる関東山地北西部の佐久山地北方峰群、西から南方に蓼科山（2530m）・双子山（2223m）・横岳（2480m）・茶臼山（2384m）を主とする北八ヶ岳連峰と、ほぼ四方を山々に囲まれた盆地で、長野県の中央東端に位置し、群馬県と接している。佐久平全域の平坦部の標高は約600mから1000mを測り、佐久市はこの佐久平のほぼ中央に位置し、平坦部の標高は620mから770mを測る。佐久市は北側で北佐久郡軽井沢町・御代田町、小諸市、東御市と、西側で北佐久郡立科町と、南側で茅野市、南佐久郡佐久穂町と、東側で群馬県甘楽郡下仁田町・南牧村と接している。平成14年度の年平均気温は10.9℃、年間降水量は994㎜、年間日照時間は2069.9時間、最高最低気温差は46.4℃で、典型的な中央高地型気候となっている。

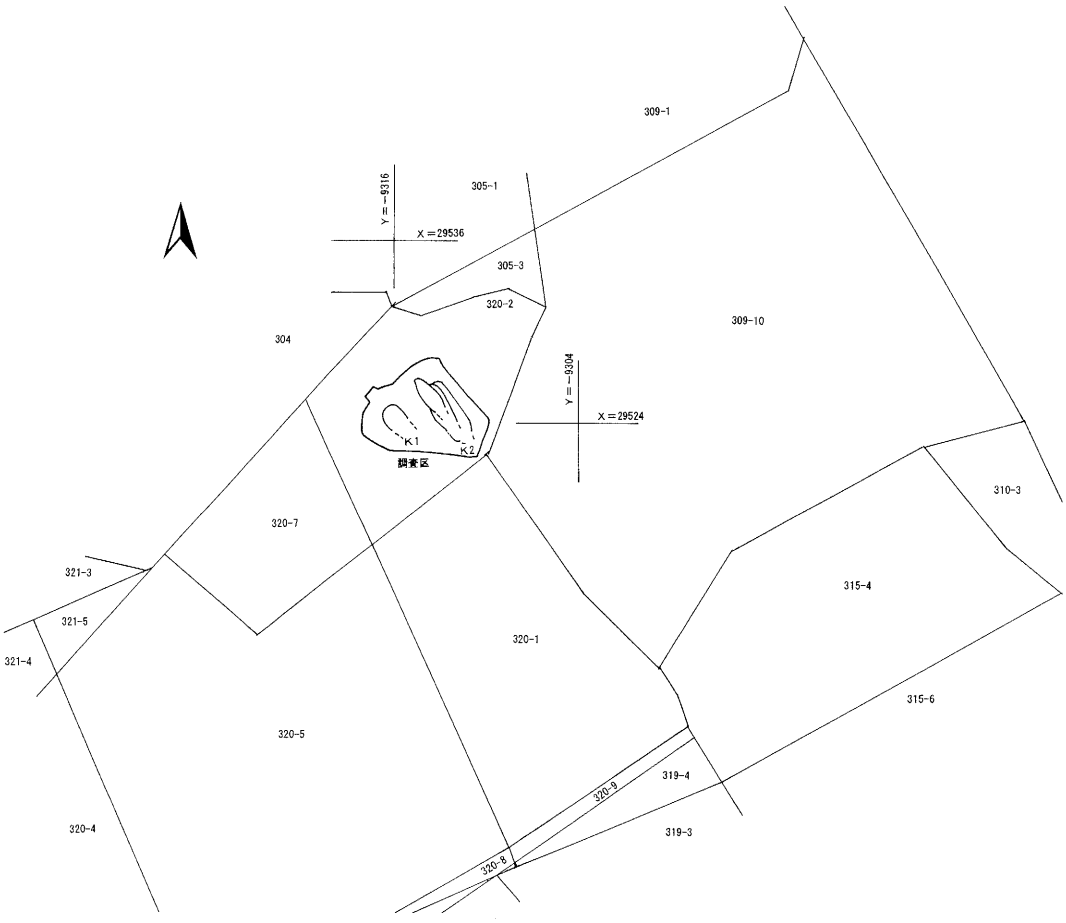
佐久市は中央部を佐久地方南端の甲武信ヶ岳に源を発する千曲川が北進し、浅間山麓に源を発する湯川・濁り川、佐久山地に源を発する霞川・香坂川・志賀川・滑津川・田子川・瀬早川・八重久保川・雨川・谷川、北八ヶ岳山麓に源を発する石突川・片貝川・大沢川・中沢川・小宮山川・倉沢川・宮川・滝川・大曲川・布施川・須釜川・八丁地川・鹿曲川・細小路川などの小河川がそれに向かって集まり、大小の扇状地や河岸段丘・侵食谷を形成している。

今回調査した権現山窯跡は、千曲川を東に望む丘陵斜面に展開する。本丘陵は蓼科山から続く緩やかな丘陵が佐久平に突き出した状態となる丘陵群のひとつで、第三紀から第四紀初頭にかけて存在した小諸湖・相浜湖堆積層に蓼科山・浅間山火山群の降下火山砂・灰が堆積している。

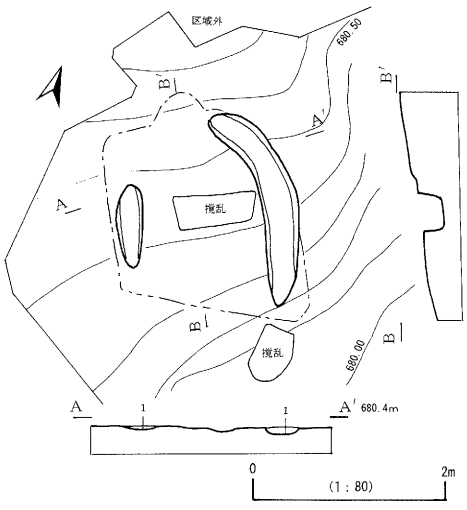
2　遺跡の歴史的環境

今回調査した権現山窯跡の所在する八幡地区には、奈良時代・平安時代の遺跡が展開している。西側には神明Ａ遺跡、神明Ｂ遺跡、大平遺跡、堀久保口Ａ遺跡、堀久保口Ｂ遺跡が展開するが、すべて概期の遺跡である。東に展開する中原遺跡は、奈良時代から中世にかけての遺跡で、南西に展開する矢島城跡遺跡群は、中世の矢島城跡を含む縄文時代と奈良・平安時代・中世の複合遺跡である。権現山遺跡群の展開する丘陵は、当然のごとく東から南に、北から西にかけて緩やかな斜面が広がる。今回調査の窯跡は、上部の粘土質土壌と粘質土・シルト質岩盤をくり抜いて築造しており、付近には未確認の窯跡が多数展開している可能性が高い。須恵器の原料となる粘土は、湖沼堆積物である付近に存在する粘質土岩盤より求めたものと考えられる。この堆積層は、蓼科山麓末端の佐久平西側と、安原・瀬戸・平賀の一部に存在し、湖沼堆積であるため、灰白～灰～黒灰色をしている。

第Ⅲ章　調査の記録



第３図　権現山窯跡調査全体図・周辺地籍図（1：500）

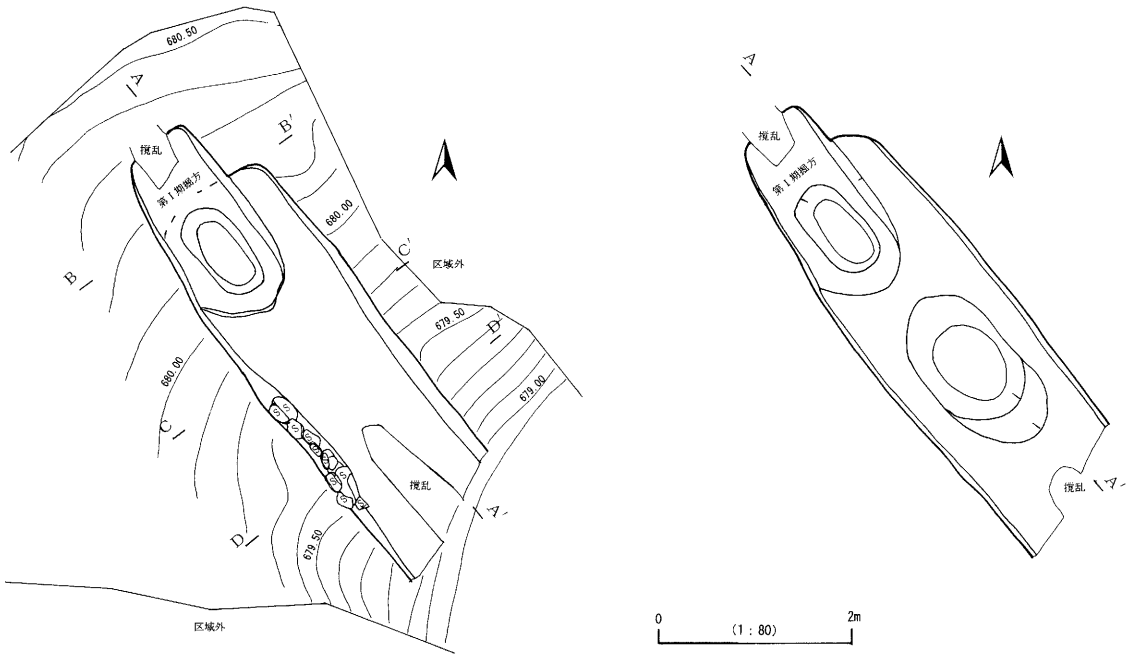


第４図　第１号窯址実測図

第１号窯址（Ｋ１号）

第１号窯跡は、斜面上段部で、斜面に直交して検出された。主軸は北より西に向い45°振れる。検出は、掘り方のみであり、上部構造物は、過去の土砂採取等により削平されてしまったものと考えられる。検出した基盤土壌は熱を受けて変色していた。掘り方の土層は１層のみを確認した。人為的な混合土で、暗赤色焼土・暗赤灰色窯体小ブロック土を多量、褐色ロームを少量含む。全体の色調は極暗赤褐色を示す。遺物は掘り方より奈良時代の坏の破片が数点出土した。稼動時期は奈良時代と推定される。

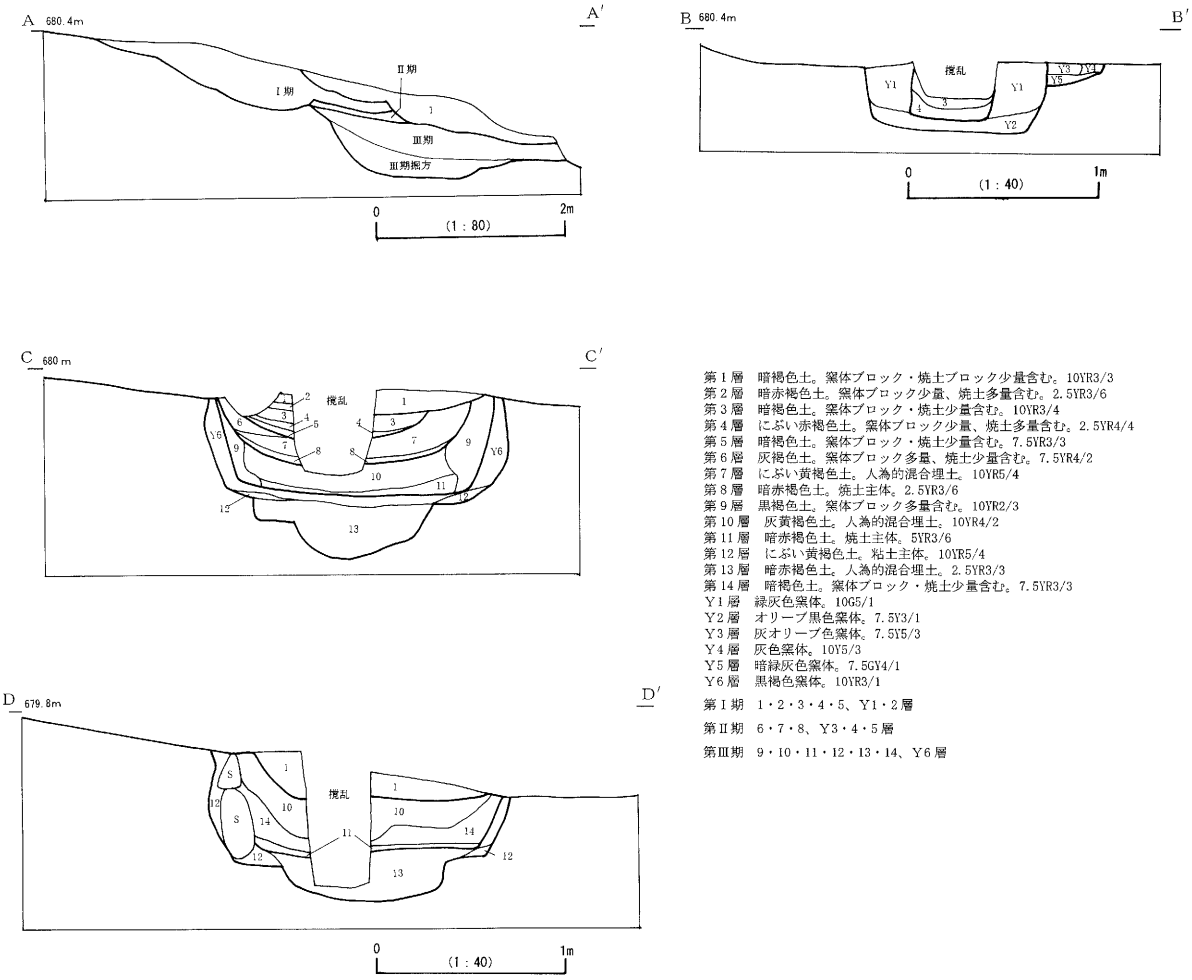
第５図　第２号窯址実測図（左第Ⅰ期、右第Ⅱ期）



第６図　第２号窯址実測図（右：掘り方）

第２号窯址（Ｋ２号）

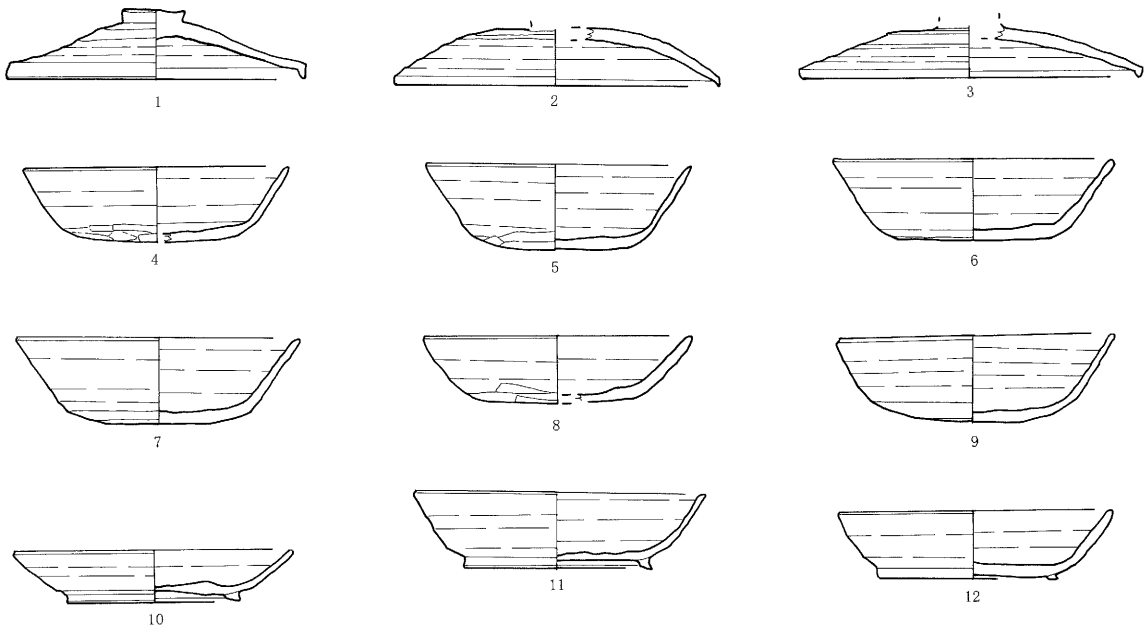
第２号窯址は、斜面中央部で、斜面に直交して検出された。中央部を排水施設敷設による撹乱により破壊される。主軸は北より西に向い39°振れる。稼動期間は三期が確認された。一番新しいのが第Ⅰ期、中間が第Ⅱ期、古いのが第Ⅲ期とした。第Ⅲ期に比べ、第Ⅱ期が、第Ⅱ期に比べ第Ⅰ期の順で規模を縮小させている。土層中第１層は、本址の土層を破壊する特殊な層で、平安時代前期の土師器・灰釉陶器を包含していた。第12層は粘土層で、燃焼部の石垣とともに、第Ⅲ期の改築に伴う層と考えられる。遺物は第Ⅲ期の燃焼部の掘り方の土坑状掘り込みからほとんどが出土した。掘り方第13層下部に一括して埋められたものであり、第Ⅲ期稼動直前の須恵器群と考えられる。本址の所産期は奈良時代前半代と考えられる。



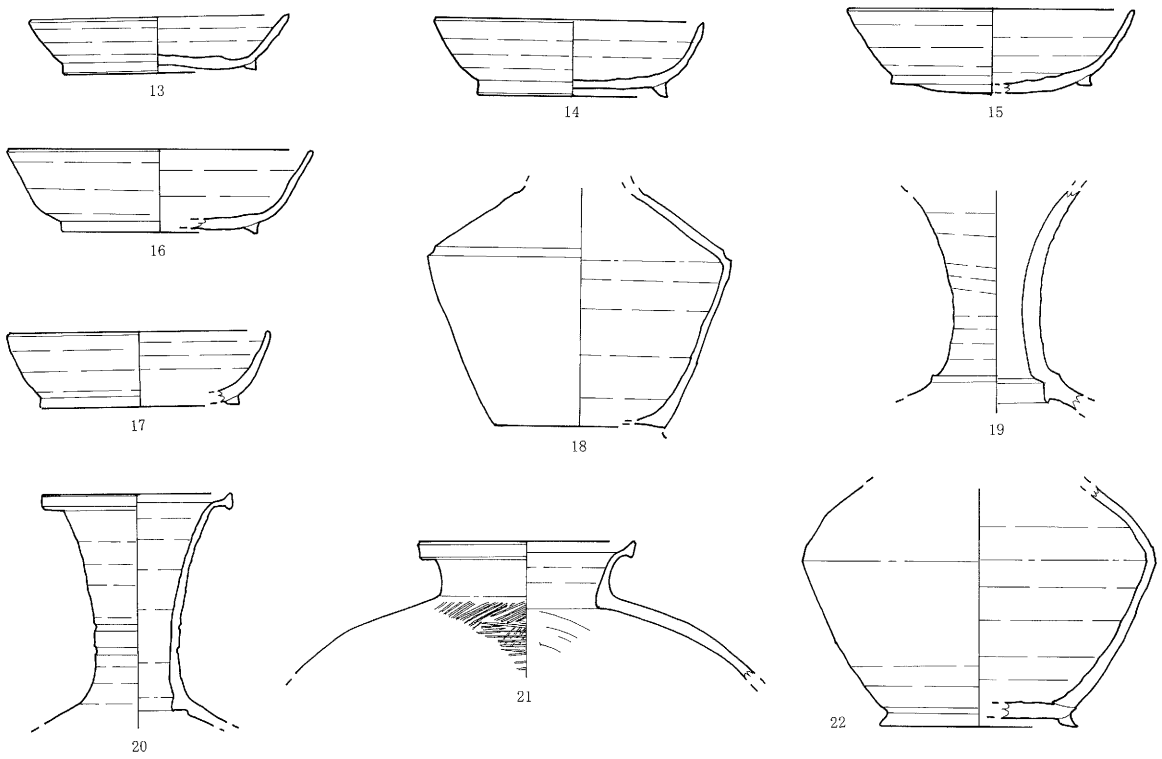
第1層　暗褐色土。窯体ブロック・焼土ブロック少量含む。10YR3/3
第2層　暗赤褐色土。窯体ブロック少量、焼土多量含む。2.5YR3/6
第3層　暗褐色土。窯体ブロック・焼土少量含む。10YR3/4
第4層　にぶい赤褐色土。窯体ブロック少量、焼土多量含む。2.5YR4/4
第5層　暗褐色土。窯体ブロック・焼土少量含む。7.5YR3/3
第6層　灰褐色土。窯体ブロック多量、焼土少量含む。7.5YR4/2
第7層　にぶい黄褐色土。人為的混合埋土。10YR5/4
第8層　暗赤褐色土。焼土主体。2.5YR3/6
第9層　黒褐色土。窯体ブロック多量含む。10YR2/3
第10層　灰黄褐色土。人為的混合埋土。10YR4/2
第11層　暗赤褐色土。焼土主体。5YR3/6
第12層　にぶい黄褐色土。粘土主体。10YR5/4
第13層　暗赤褐色土。人為的混合埋土。2.5YR3/3
第14層　暗褐色土。窯体ブロック・焼土少量含む。7.5YR3/3
Y1層　緑灰色窯体。10G5/1
Y2層　オリーブ黒色窯体。7.5Y3/1
Y3層　灰オリーブ色窯体。7.5Y5/3
Y4層　灰色窯体。10Y5/3
Y5層　暗緑灰色窯体。7.5GY4/1
Y6層　黒褐色窯体。10YR3/1

第Ⅰ期　1・2・3・4・5、Y1・2層
第Ⅱ期　6・7・8、Y3・4・5層
第Ⅲ期　9・10・11・12・13・14、Y6層

第7図　第2号窯址土層断面図



第8図　第2号窯址出土須恵器実測図（1：4）



第９図　第２号窯址出土須恵器実測図（1：4）

出土遺物一覧表

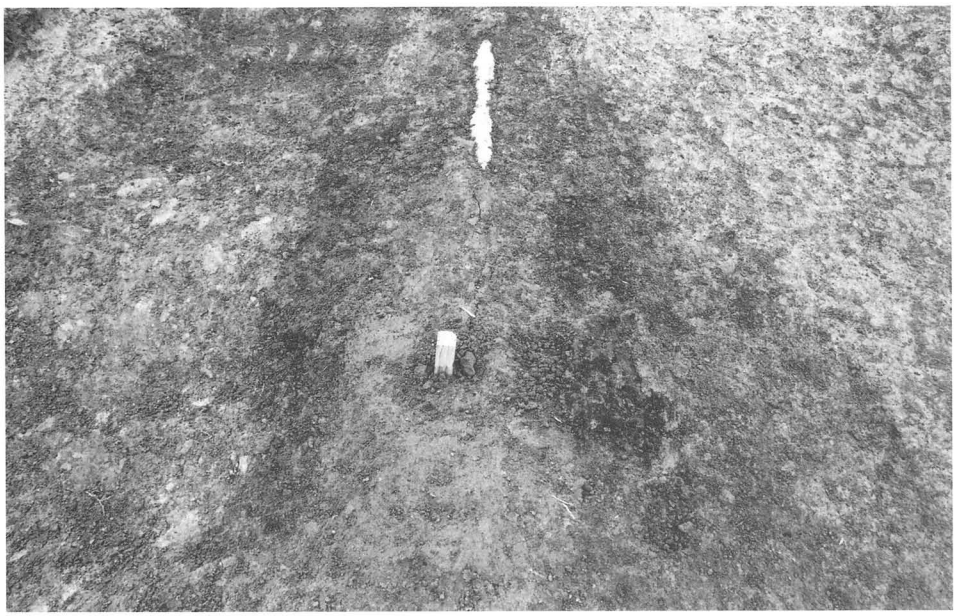
挿図番号	器種	特　徴
8-1	蓋	内外面ロクロヨコナデ。外面天井部回転ヘラケズリ。
8-2	蓋	内外面ロクロヨコナデ。外面天井部回転ヘラケズリ。
8-3	蓋	内外面ロクロヨコナデ。外面天井部回転ヘラケズリ。
8-4	坏	内外面ロクロヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。体部下端外面ヘラケズリ。
8-5	坏	内外面ロクロヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。体部下端外面ヘラケズリ。
8-6	坏	内外面ロクロヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。体部下端外面ヘラケズリ。
8-7	坏	内外面ロクロヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。体部下端外面ヘラケズリ。
8-8	坏	内外面ロクロヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。体部下端外面ヘラケズリ。
8-9	坏	内外面ロクロヨコナデ。底部外面ヘラケズリ。体部下端外面ヘラケズリ。
8-10	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。
8-11	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。底部外面中央「×」印ヘラキザミ
8-12	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。
9-13	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。
9-14	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。
9-15	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。
9-16	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。
9-17	坏	貼付高台。内外面ロクロヨコナデ。底部外面回転ヘラケズリ。体部下端外面回転ヘラケズリ。
9-18	壷	内外面ロクロ成形、ロクロヨコナデ。底部貼付高台。高台部剥離欠損。
9-19	壷	内外面ロクロ成形、ロクロヨコナデ
9-20	壷	内外面ロクロ成形、ロクロヨコナデ
9-21	甕	胴部外面叩き処理。内外面ロクロ成形・ロクロヨコナデ。
9-22	壷	内外面ロクロ成形、ロクロヨコナデ。底部貼付高台

Ｋ１号・Ｋ２号
検出状況
左がＫ１号窯址
右がＫ２号窯址

南東より

Ｋ１号窯址掘り方
検出状況

南東より



Ｋ１号窯址第Ｉ期
検出状況
中央部排水管

南東より

Ｋ１号窯址
調査状況

南東より

Ｋ１号窯址
全景

南東より

Ｋ２号窯址
窯体調査状況

東方より

Ｋ２号窯址
調査状況
中央部配水管

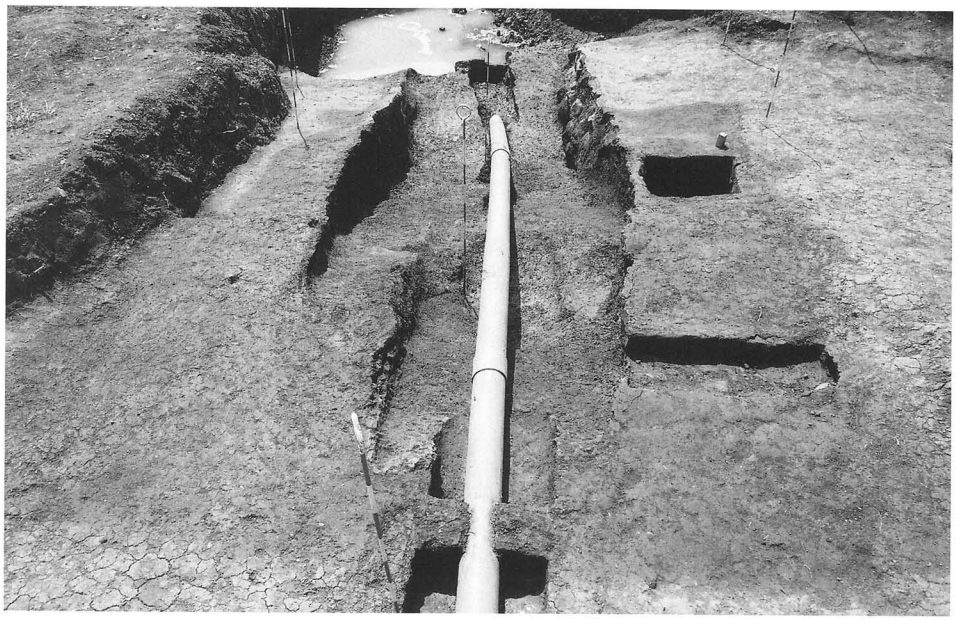
南東より

Ｋ２号窯址
第Ⅲ期稼動時全景
上方第Ⅰ・Ⅱ期
　掘り方まで完掘

南東より

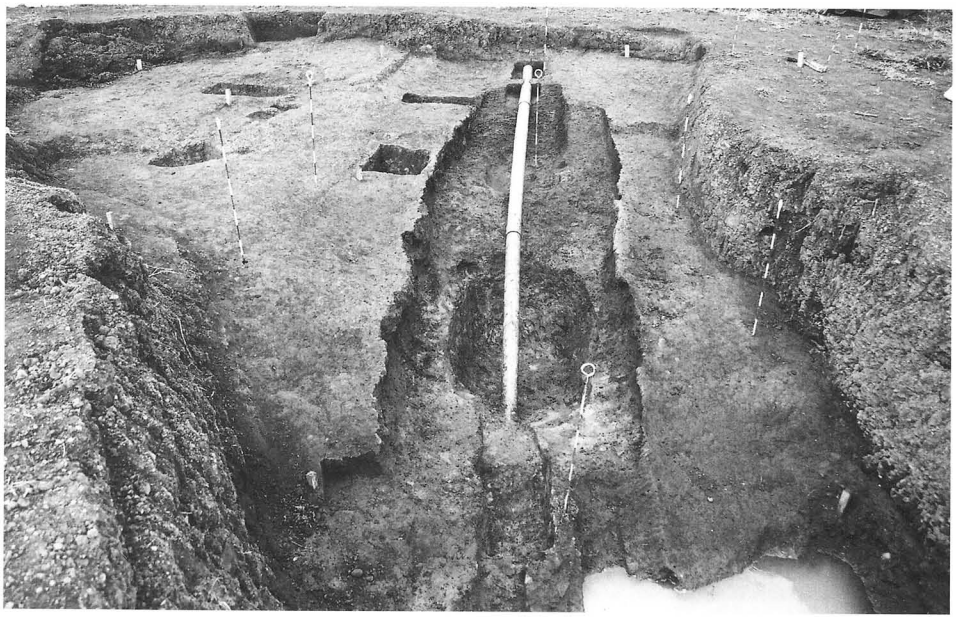
Ｋ２号窯址
燃焼部西壁
　石垣検出状況

東方より



Ｋ２号窯址
第Ⅲ期稼動時全景
手前
　第Ⅰ・Ⅱ期掘り方

北西より



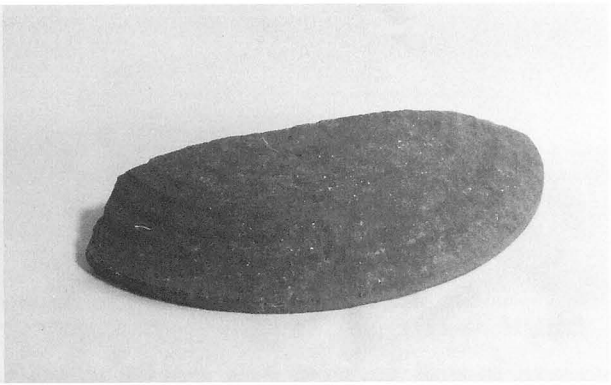
Ｋ２号窯址
全景
　掘り方
中央楕円ピット下部より
多量の遺物出土

南東より

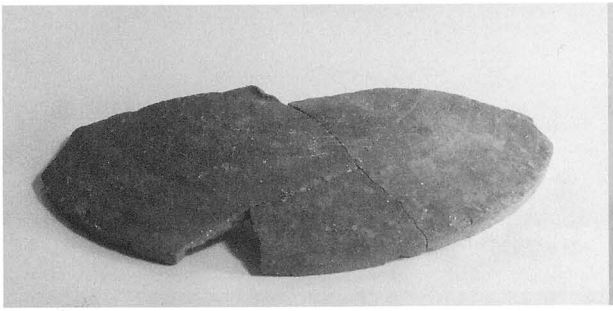
権現山窯跡
全景

南東より

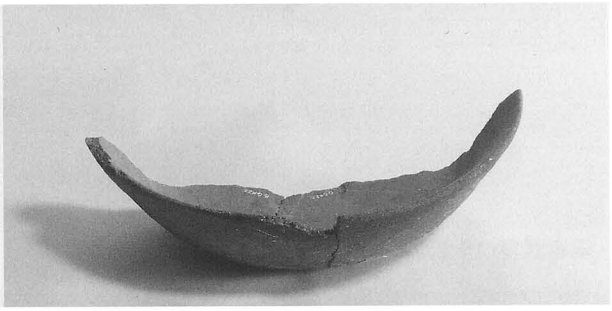
須恵器蓋（8-1）



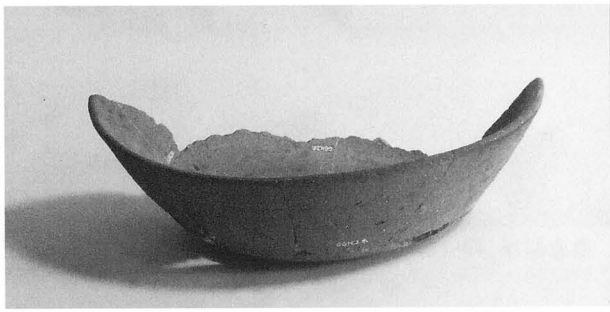
須恵器蓋（8-2）



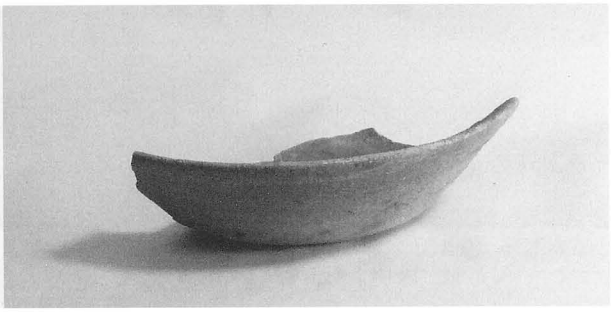
須恵器蓋（8-3）



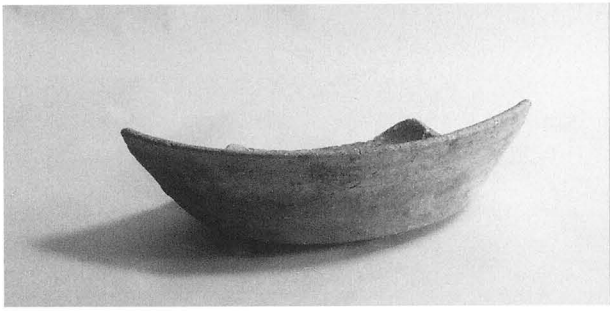
須恵器坏（8-4）



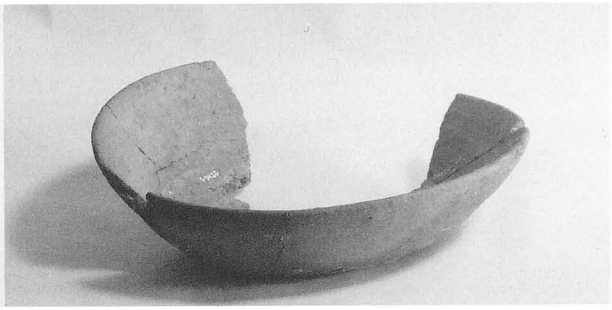
須恵器坏（8-5）



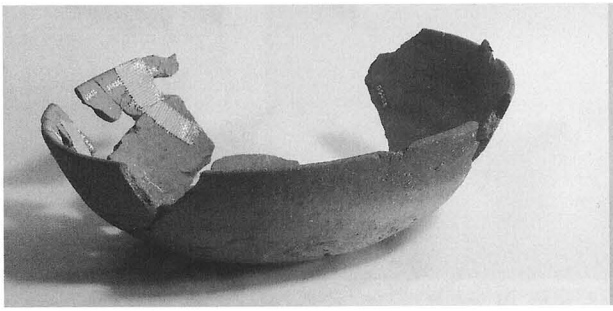
須恵器坏（8-6）



須恵器坏（8-7）



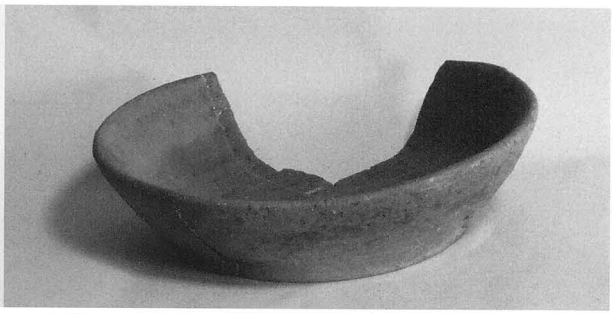
須恵器坏（8-8）



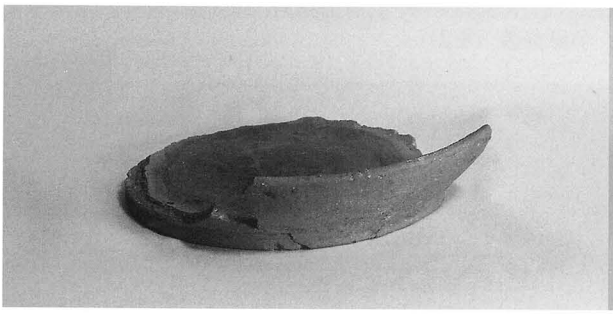
須恵器坏（8-9）

須恵器坏（8-10）

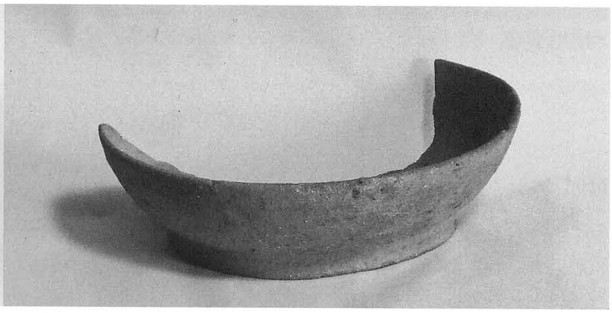
須恵器坏（8-11）



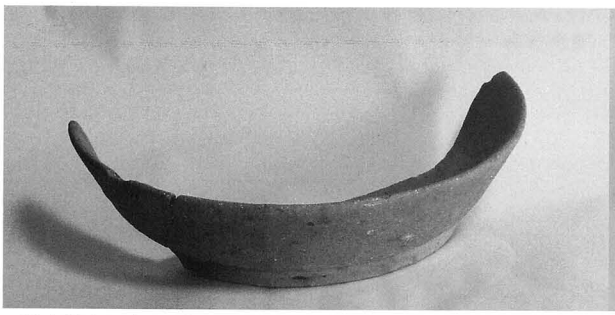
須恵器坏（8-12）



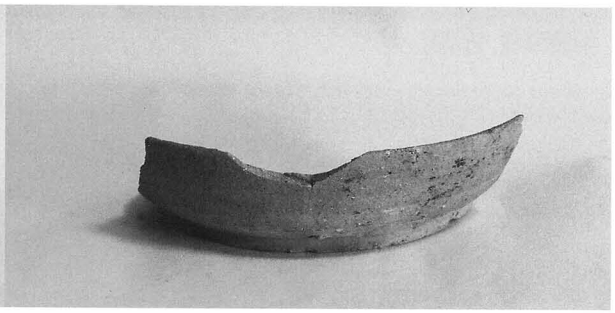
須恵器坏（9-13）



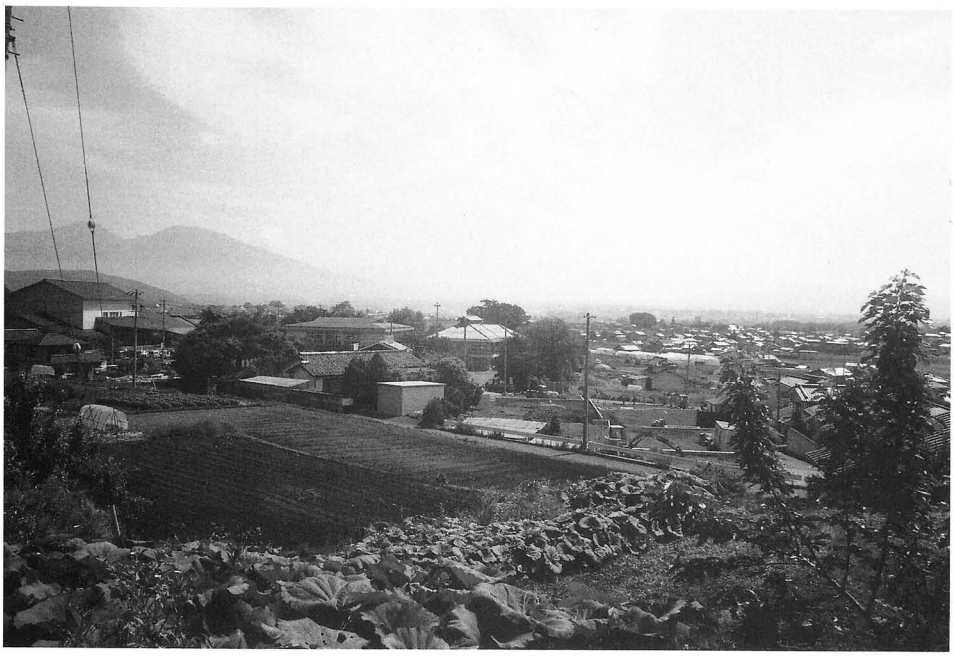
須恵器坏（9-14）



須恵器坏（9-15）



須恵器坏（9-16）



権現山遺跡群権現山窯跡 遠景 後方浅間山 中央重機付近が窯跡 西方より

権現山遺跡群
遠景
舌状に張り出した丘陵部
全体が遺跡群
本窯跡は中央やや右寄り
の斜面

南方より

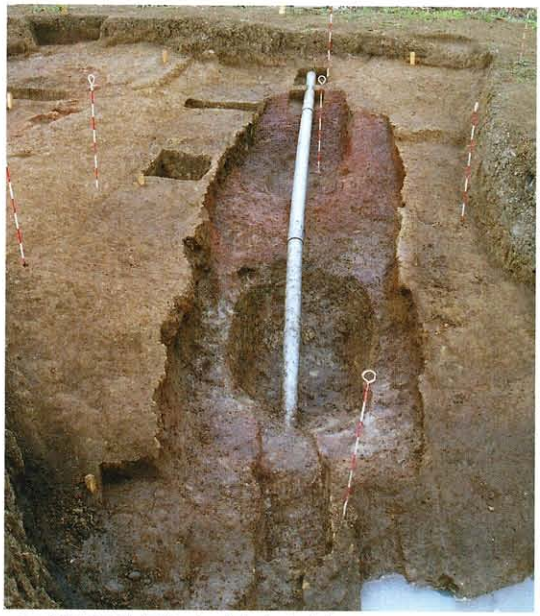
権現山窯跡
近景

東方より

権現山窯跡
重機による表土掘削

東方より

Ｋ２号窯址（稼動時：南東より）



Ｋ２号窯址掘り方（南東より）

佐久市埋蔵文化財調査報告書　第１８９集
権現山遺跡群
権 現 山 窯 跡
2011年3月
編集・発行　佐久市教育委員会
〒385-8501　長野県佐久市中込3056
文化財課
〒385-0006　長野県佐久市志賀5953
電話　0267-68-7321
印　刷　所　キクハラインク有限会社

報告書抄録

書名	権現山窯跡
ふりがな	ごんげんやまようせき
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財報告書
シリーズ番号	第１８９集
編著者名	羽毛田卓也
編集・発行機関	佐久市教育委員会
発行年月日	２０１１．３
郵便番号	３８５－０００６
電話番号	０２６７－６８－７３２１
住所	長野県佐久市志賀５９５３
遺跡名	権現山窯跡
遺跡所在地	長野県佐久市八幡320-2
遺跡番号	佐久市―865
経度	東経138° 23′ 46″
緯度	北緯36° 15′ 57″
調査期間	２００９．６．１～２０１０．３．１８
調査面積	約50㎡
調査原因	宅地造成
種別	生産址（須恵器窯跡）
主な時代	奈良時代
遺跡概要	遺構　須恵器窯跡2基 遺物　奈良・平安時代の土師器・須恵器
特記事項	

２０１１．３　佐久市埋蔵文化財調査報告書　第１８９集　権現山遺跡群 権現山窯跡

中澤建材興業株式会社
長野県佐久市教育委員会